

←1ページよりつづく

城南保健生協 加入の魅力

拡大月間がはじまりました。「誰もが安心して住み続けられるまちづくり活動の前進」「健康づくりの前進」「保健生協組合員の拡大」を基本に運動を進めていきます。一つは、「城南の保健」です。「組合員の声・医師のコラム・たまご通信・支部だより」など、楽しみにしている組合員が多くなります。

3 法人の魅力を知りましょう

城南3法人では、「よろず(な)でも」相談を行っています。どんな相談でも無料でできます。弁護士との相談も受けられます。

城南福祉医療協会では、無料

第2回

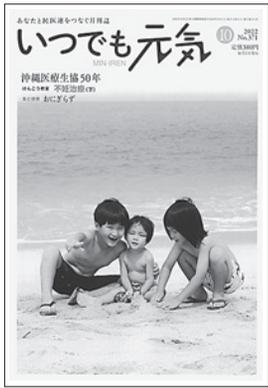
城南保健生協 常務理事

星野弘子

命を守り人を大切にする集団の魅力

大田歯科が1980年に設立された間もなく私も利用するようになりました。1970〜80年代は、城南福祉医療協会でも研修医をたくさん受け入れていたので、大田歯科も活気がありました。治療ユニットが13台もあっていつも患者さんでいっぱいでした。

私は待合室で全日本民医連が発行している月刊誌「いつでも元気」に出会いました。そこにはマスコミで取り上げられていないことや報道されなかった事件



1冊380円です。ぜひ購読を

者のごとく、医療で働く職員の様子、地域で暮らす住民の生活

低額診療事業を行っています。また、大田病院では差額ベッド料がないというのを知らない方が多くいます。これらの魅力を知らせながら、仲間増やしにつなげていきましょう。

最後に

病院や各診療所・薬局と地域のつながりは、他の医療機関には見られない関係にあります。城南3法人の団結をさらに強くしていくことが求められます。

経営も医療制度の連続改善がつぎ、さらにコロナ感染の拡大で厳しい状況にありますが、力を合わせ、この困難を乗り越えていきましょう。

なごまごまな記事が載りますが、一貫していることは命の重さは誰しも平等であり、平和に生きる権利と戦争反対を掲げていることです。読み進めていくうちに民医連には綱領があってそれは日本国憲法の精神をもとに作られていることも知りま

た。こうして私は次第に病院や保健生協の活動に参加する機会が増えていったのです。「いつでも元気」には日々の仕事や生活に役立つ記事が載っています。そして、写真がとてきれいで眺めているだけでもストレス解消ができます。たくさん笑顔に出会えるステキな雑誌です。ぜひ皆さんも購読してください。

安心して住み続けられませんか?

私は大田区に住んで54年になります。高校を卒業してすべ、



3人集まれば班会です

りたいことのできる町ならどこに住んでもよいと思っ

た。しかし、高齢者になってからは、切実にこの町から離れたくないと思っ

ています。なせかといえば、今の自分の体力で引越をするのは大変なことです。知らない町で知り合

い人も、一人暮らしの人は、一人暮らしで暮らしていきたくありません。それはきっとストレスになって外にも出ず足腰も弱るでしょう。人とも話さないでいたら、認知症が急速に進むのではないのでしょうか。高齢者にとって住む場所を変えることは大きな負担なのです。時には命を縮めます。

ワイワイ過ごせる仲間がいて体調が悪ければすぐに診てもらえる診療所があり、困ったときは相談のつなぐもらえる。私はこの町が大好きです。保健生協や大田病院につながりができたから安心してこの町で暮らせます。

が通い合えば生きる活力が生まれます。医療・介護が充実し、人びとがあなたたくつながらあっている町、一人暮らしの人が安心して住める町は福祉力の高い町です。その一端を担っているのが城南3法人なのです。

高齢になったとき、子どもの家に同居したり、高齢者施設に引っ越さなくても今住んでいる場所ですと暮らしていける、そんなつながりのあるまちづくりに私たちをはじめとしています。

無料低額診療事業、差額ベッド料金のない病院、よろず(な)でも相談、これらの活動は地域住民が安心して暮らせるための大きな力になっています。

患者さんの生活を考える診療

私が大田病院を知ったのは1975年頃だったと思います。知り合った近所の人が大森東によい病院があるから覚えておくとよいと教えてくれたのです。お金のない人でも診るし、困りごとの相談にもつなぐられると

いうのです。また古い建物だった大田病院にはじめて行くと、受付の前には3畳くらいの畳敷きの台があった患者さんは履き物を脱いで座って待っていました。病棟へ行く廊下に机をおいて相談事を聞いてくれる人が座っていました。

大田病院や大森中診療所で診てもらおうようになって、他の病院とは違うと思っ

今だからこそ、地域の方々とつながりを強く

10月1日(土)、共同組織・秋の強化月間スタート集会が行われました。オンラインで診療所や薬局などに視聴会場を設け、61人の職員と組合員が参加しました。

この集会のテーマは、「なぜ、城南保健生協の組合員を増やすの?」地域の方々には病院や診療所をどう思っているの?などです。その中で、改めて地域

になった原因がそのまま残されていれば、再発してまた病院に戻っていることになりま

す。城南保健生協に加入することで、これらの取り組みを支えることにもつながります。

スタート集会では大森東しあわせ食堂よろず(な)でも相談、月一ウォーク・まち歩き

の会の活動と診療所の事務長や職員から職場での取り組みの報告がありました。

参加された方々から寄せられた感想をご紹介します。

・しあわせ食堂は、一緒に取り組む仲間がいることが重要ですね。なかなか参加できませんが、いつも心を寄せています。

・よろず相談は、相談するところで解決できることがあるということがよくわかりました。何より、まず一人で悩まず誰かに話せる場があるというのがとても大切なことだと思います。

・月一ウォークの話は、要求をくみ取って、やりたいことを実践する、楽しもうという大切なことだと思います。

・牛澤さんのお話は、共同組織と病院の関わり、大きな存在であることを改めて確認できました。「看護を学ぶように共同

組織を学ぶ」。

・京浜診療所の青空相談、オレンジカフェ六郷の再開など進み取り組み、力強い発言でした。新師長が着任してからのさらなる発展を期待しています。

・城南医療の報告は、「地域の薬局」を実感。告知のやり方、取り組みの仕方、とても素晴らしい取り組みばかり。

・うのき診療所の報告は、発熱外来や、ワクチン対応で忙しい中、「散歩の会」を実施してがんばっていますね。



大森東しあわせ食堂は毎月第4金曜日

月間スタート 集会感想より

・参加できてよかったと思う

集会でした。私自身も時間の余裕ができるようになって、いろいろ考えることができるようになったせいもあると思います。

・ゆたか地域の報告は、活動が継続できていることがすごい。

・参加できてよかったと思う

集会でした。私自身も時間の余裕ができるようになって、いろいろ考えることができるようになったせいもあると思います。

・参加できてよかったと思う

集会でした。私自身も時間の余裕ができるようになって、いろいろ考えることができるようになったせいもあると思います。